

助成結果報告の手引き

1. 提出期限

助成結果報告書は、助成講座終了後1ヶ月以内に提出してください。特段の事情により期限内に提出することが出来ない場合は、事前に財団事務局までご相談下さい。

2. 提出方法と問合せ先

「助成結果報告書」に必要事項を記入・署名または捺印し、E-mailで提出してください(郵送も可)。なお、添付資料が必須です。下記のすべての提出物を併せてお送りください。

- [提出物] ・ 助成結果報告書
- ・ 全ての回の講義資料 (PowerPointや配布資料)
 - ・ 全ての回の写真記録 (講師や受講生を含む授業風景)

[提出先] 一般財団法人 ユーラシア財団 from Asia
E-mail : tokyo@eurasia.or.jp

住所 : 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー405号
TEL : 03-5615-5500

3. 作成時の注意点

1) 講義資料・写真記録

各講義資料および写真記録のファイル名には、講義回数と担当講師名を入れて下さい。

【例】 15_佐藤洋治.pdf 15_佐藤洋治.jpg

2) 使用する言語

日本語または英語で入力して下さい。その他の言語(中国語、ハングル等)は使用しないで下さい。言語指定がある欄は、指定された言語で入力して下さい。

3) 署名・押印

1ページ目に押印または署名をして下さい。押印または署名のない報告書は受理できません。なお、氏名のテキスト入力も署名として認められません。

4) 講義が17回以上ある場合

このファイルをもう一つ使用して、18回目以降の情報を入力して下さい。

5) 講師一覧の専門分野

専門分野(選択1)、専門分野(選択2)は、ドロップダウンリストからの選択式です。

必ず「選択1→選択2」の順で選んで下さい。 専門分野の一覧は別シートにあります。

(日本語)と(English)の両方を入力して下さい。日本語の氏名欄はすべて漢字で入力して下さい。漢字のない場合は、カタカナで入力して下さい。

助成結果報告書

作成日

1. 大学と報告書作成者

大学名	(日本語)			助成年度	年目
	(English)				
氏名	(日本語)	(姓)	(名)	押印または署名	
	(English)	(Family name)	(First name)		
職名	(日本語)				
	(English)				
所属機関名	(日本語)				
	(English)				
所属機関住所	(日本語)				
	(English)				
TEL(研究室)			E-mail(メイン)		
TEL(携帯)			E-mail(サブ)		

2. 予算と支出 ↓日本の大学は「助成額」のUSDの文字をクリックしてJPYを選択して下さい

助成額	<input type="text"/>	+	前年からの 繰越額	<input type="text"/>	=	予算合計	<input type="text"/>
-----	----------------------	---	--------------	----------------------	---	------	----------------------

区分	支出額	詳細 <small>←内訳などを詳しく記入して下さい</small>	
旅費 (交通費・宿泊費)	<input type="text"/>		
講師謝礼	<input type="text"/>		
運営費	<input type="text"/>	印刷製本費	<input type="text"/>
		通信運搬費	<input type="text"/>
		会議費	<input type="text"/>
管理費	<input type="text"/>		
その他	<input type="text"/>		
支出合計	<input type="text"/>		
残金	<input type="text"/>	→使途予定の詳細を「5. 残金使途」にご記入ください。	

3. 講座の詳細（実際に行ったシラバス）

(RG1JP)

講座名	(日本語)								
	(English)								
実施期間	年	月	日	～	年	月	日	受講言語	
講座対象学部 及び学科名	(日本語)								
	(English)								
受講者数	①登録学生数	名	②一般聴講生数 (①を除く平均)	名	認定単位数				

実施日		講義テーマ	講師名 (姓) (名)		講師所属機関 名
第1回	(日本語)				
	(English)				
第2回	(日本語)				
	(English)				
第3回	(日本語)				
	(English)				
第4回	(日本語)				
	(English)				
第5回	(日本語)				
	(English)				
第6回	(日本語)				
	(English)				
第7回	(日本語)				
	(English)				
第8回	(日本語)				
	(English)				
第9回	(日本語)				
	(English)				
第10回	(日本語)				
	(English)				
第11回	(日本語)				
	(English)				
第12回	(日本語)				
	(English)				
第13回	(日本語)				
	(English)				
第14回	(日本語)				
	(English)				
第15回	(日本語)				
	(English)				
第16回	(日本語)				
	(English)				
第17回	(日本語)				
	(English)				

4. 講師一覧

(RG1JP)

	講師名 (姓) (名)		講師所属機関名	職名	現在の研究テーマ 専門分野 (リスト選択)	
	記入例	佐藤			洋治	ユーラシア財団 from Asia
	Sato	Yoji	Eurasia Foundation (from Asia)	Chairman	哲学ーその他	
最終学校(卒業年)	早稲田大学 (1698)		E-mail	tokyo@eurasia.or.jp		
(日本語)						
(English)						
最終学校(卒業年)			E-mail			
(日本語)						
(English)						
最終学校(卒業年)			E-mail			
(日本語)						
(English)						
最終学校(卒業年)			E-mail			
(日本語)						
(English)						
最終学校(卒業年)			E-mail			
(日本語)						
(English)						
最終学校(卒業年)			E-mail			
(日本語)						
(English)						
最終学校(卒業年)			E-mail			
(日本語)						
(English)						
最終学校(卒業年)			E-mail			
(日本語)						
(English)						
最終学校(卒業年)			E-mail			

	講師名 (姓) (名)		講師所属機関名	職名	現在の研究テーマ 専門分野 (リスト選択)	
	(日本語)					
(English)						
最終学校(卒業年)				E-mail		
(日本語)						
(English)						
最終学校(卒業年)				E-mail		
(日本語)						
(English)						
最終学校(卒業年)				E-mail		
(日本語)						
(English)						
最終学校(卒業年)				E-mail		
(日本語)						
(English)						
最終学校(卒業年)				E-mail		
(日本語)						
(English)						
最終学校(卒業年)				E-mail		
(日本語)						
(English)						
最終学校(卒業年)				E-mail		
(日本語)						
(English)						
最終学校(卒業年)				E-mail		

※ご提出頂く個人情報は、当財団の「個人情報に関する基本方針」に基づき、安全かつ適正に管理致します。

5. 残金使途 ※「2. 予算と支出」に残金がある場合は必須

6. その他報告事項

専門分野（選択1・2）で表示されるリストの一覧です。

選択1	選択2
哲学	哲学、倫理学
	中国哲学、インド哲学、仏教学
	宗教学
	思想史
	その他
芸術学	美学、芸術諸学
	美術史
	芸術一般
	デザイン
	その他
文学	日本文学
	英米・英語圏文学
	ヨーロッパ文学
	中国文学
	文学一般
言語学	言語学
	日本語学
	英語学
	日本語教育
	外国語教育
	その他
史学	史学一般
	日本史
	アジア史、アフリカ史
	ヨーロッパ史、アメリカ史
	考古学
	その他
地理学	
文化人類学	文化人類学
	民俗学、民族学
	その他
法学	基礎法学
	公法学
	国際法学
	社会法学
	刑事法学
	民事法学
	新領域法学
	その他
政治学	政治学
	国際関係論
	メディア、ジャーナリズム
	軍事、安全保障
	その他

選択1	選択2
経済学	理論経済学
	経済学説、経済思想
	経済統計
	経済政策
	財政、公共経済
	金融、ファイナンス
	経済史
経営学	経営学
	商学
	会計学
	その他
社会学	社会学
	社会福祉学
	その他
心理学	社会心理学
	教育心理学
	臨床心理学
	実験心理学
	その他
教育学	教育学
	教育社会学
	教科教育学
	特別支援教育
	その他
情報学	
環境学	
生活科学、家政学	
社会・安全システム科学	
健康・スポーツ科学	
地域研究	
ジェンダー	
観光学	
理工系	数学
	天文学
	物理学
	化学
	工学
	建築学
	生物学
	農学
	医学、薬学
	その他